

再 評 価 調 書

I 事業概要					
事業名	道路事業（道路改良事業）				
地区名	一般県道南大須鴨田線				
事業箇所	岡崎市大高味町地内				
事業のあらまし	<p>一般県道南大須鴨田線は岡崎市南大須町から岡崎市鴨田町に至る延長17.2kmの路線であり、山間地域における幹線道路として重要な役割を担っている。</p> <p>当該事業区間は、道路幅員が狭隘で、車のすれ違いが困難な状況になっているが、近隣のゴルフ場等への通過交通が多く、自動車と歩行者が輻輳し、非常に危険な状況となっている。また、点在する集落を結ぶ本路線は、日常生活での移動や、災害時における避難路としての役割を担っており、狭隘区間の解消が求められている。</p> <p>このため、「山間や離島などの暮らしを支える基盤整備」と「風水害・土砂対策の強化」を主な目的として、自動車の安全性と走行性の向上と地域の防災性の向上を図るため、一般県道南大須鴨田線の現道拡幅を実施するものである。</p>				
事業目標	<p>【達成（主要）目標】</p> <p>(1) 山間や離島などの暮らしを支える基盤整備</p> <p>(2) 風水害・土砂対策の強化</p> <p>【副次目標】</p> <p>—</p>				
計画変更の推移		事業採択時 (H7)	再評価時 (H28)	変動要因の分析	
	事業期間	平成7年度～31年度	平成7年度～31年度		
	事業費（億円）	13.4	13.4		
	経費内訳	工事費	9.7	9.7	
		用補費	2.8	2.8	
		その他	0.9	0.9	
事業内容	現道拡幅 延長L=1.2km 2車線 幅員W=9.25m	現道拡幅 延長L=1.2km 2車線 幅員W=9.25m			
II 評価					
①事業の必要性の変化	1) 必要性の変化	<p>【事業採択時の状況】</p> <p>当該事業区間の周辺では、生活や生産の基盤を道路に依存していることから、本路線は地元住民にとって重要な路線である。また、ゴルフ場等へのアクセス道路としても利用されており、通行車両が増加しているにもかかわらず、道路が狭隘で自動車と歩行者が輻輳しており、安全性が確保されていなかった。</p> <p>【再評価時の状況】</p> <p>(1) 山間や離島などの暮らしを支える基盤整備</p> <p>道路の狭隘箇所では、依然として自動車と歩行者が輻輳しており、安全性が確保されていない。</p> <p>(2) 風水害・土砂対策の強化</p> <p>道路幅員が狭隘で災害時における輸送路及び避難路としての機能を有していないため、地元住民の安心・安全な生活が確保されていない。</p> <p>【変動要因の分析】</p> <p>事業採択時と現在の状況に変動要因はなく、引き続き整備の必要性がある。</p>			

判定	B	A: 事業着手時に比べ必要性が増大している。 B: 事業着手時に比べ必要性にほとんど変化がない。 C: 事業着手時に比べ必要性が著しく低下している。																																																																																												
	【理由】 道路幅員が狭隘で、自動車と歩行者の安全及び地元住民の安心・安全な生活が確保されておらず、依然として事業の必要性が高い状況である																																																																																													
②事業の進捗状況及び見込み	1) 進捗状況	【事業計画及び実績】 <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>H7</th> <th>H8</th> <th>H9~H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>H31</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">工種区分</td> <td>調査・設計</td> <td colspan="3">←————→</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>用地補償</td> <td></td> <td></td> <td>←————→</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>工事</td> <td></td> <td>←————→</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>————→</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">事業費(億円)</td> <td>計画</td> <td colspan="3"></td> <td colspan="4">1.6</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td colspan="3">11.8</td> <td colspan="4"></td> </tr> </tbody> </table> 【進捗率】 <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">これまでの計画に対する達成状況</th> <th colspan="2">全体進捗状況</th> </tr> <tr> <th>計画【①】</th> <th>実績【②】</th> <th>達成率(%)【②÷①】</th> <th>計画【③】</th> <th>達成率(%)【②÷③】</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>延長(km)</td> <td>-</td> <td>1.1</td> <td>-</td> <td>1.3</td> <td>85%</td> </tr> <tr> <td>事業費(億円)</td> <td>-</td> <td>11.8</td> <td>-</td> <td>13.4</td> <td>88%</td> </tr> <tr> <td> 工事費</td> <td>-</td> <td>8.9</td> <td>-</td> <td>9.7</td> <td>92%</td> </tr> <tr> <td> 用地補償費</td> <td>-</td> <td>2.0</td> <td>-</td> <td>2.8</td> <td>71%</td> </tr> <tr> <td> その他</td> <td>-</td> <td>0.9</td> <td>-</td> <td>0.9</td> <td>100%</td> </tr> </tbody> </table> ※用地進捗率(面積ベース)は、約71%			H7	H8	H9~H27	H28	H29	H30	H31	工種区分	調査・設計	←————→							用地補償			←————→					工事		←————→					————→	事業費(億円)	計画				1.6				実績	11.8								これまでの計画に対する達成状況			全体進捗状況		計画【①】	実績【②】	達成率(%)【②÷①】	計画【③】	達成率(%)【②÷③】	延長(km)	-	1.1	-	1.3	85%	事業費(億円)	-	11.8	-	13.4	88%	工事費	-	8.9	-	9.7	92%	用地補償費	-	2.0	-	2.8	71%	その他	-	0.9	-	0.9	100%
			H7	H8	H9~H27	H28	H29	H30	H31																																																																																					
	工種区分	調査・設計	←————→																																																																																											
		用地補償			←————→																																																																																									
		工事		←————→					————→																																																																																					
	事業費(億円)	計画				1.6																																																																																								
		実績	11.8																																																																																											
		これまでの計画に対する達成状況			全体進捗状況																																																																																									
		計画【①】	実績【②】	達成率(%)【②÷①】	計画【③】	達成率(%)【②÷③】																																																																																								
	延長(km)	-	1.1	-	1.3	85%																																																																																								
事業費(億円)	-	11.8	-	13.4	88%																																																																																									
工事費	-	8.9	-	9.7	92%																																																																																									
用地補償費	-	2.0	-	2.8	71%																																																																																									
その他	-	0.9	-	0.9	100%																																																																																									
2) 未着手又は長期化の理由	・完了予定年度に変更なし。																																																																																													
3) 今後の事業進捗の見込み	【阻害要因】 ・地元自治体より早期整備が要望されており、大きな阻害要因はない。 【今後の見込み】 ・平成31年度までに整備が完了する予定である。																																																																																													
判定	A	A: 事業は順調であり、計画通り確実な完成が見込まれる。 B: 次のいずれか(該当する項目に「○印」を付ける) ・これまで事業は順調である。今後は多少の阻害要因が見込まれるものの、一定の期間等を要すれば、解決できる見通しがあり、ほぼ計画通りの完成が見込まれる。 ・これまで事業が長期化していたが、事業期間を延長したことにより、今後は阻害要因がなく、ほぼ計画通りの完成が見込まれる。 ・これまでの事業長期化により、事業期間を延長した。今後も多少の阻害要因が見込まれるが、一定の期間等を要すれば、解決できる見通しがあり、ほぼ計画通りの完成が見込まれる。 C: 阻害要因の解決が困難で、現時点では、事業進捗の目処がたたない。																																																																																												
	【理由】 ・事業は順調であり、予定通り平成31年度までに整備完了が見込まれるため。																																																																																													

Ⅲ 対応方針	
継続	中止：上記①～③の評価で一つでもC判定があるもの。 継続：上記以外のもの。
Ⅳ 事後評価実施の有無と主な評価内容	
<p>■対象（事業完了後5年目） □対象外</p> <p>【事業完了後5年を越えて実施する理由・対象外の理由】</p> <p>—</p> <p>【主な評価内容】</p> <p>交通量（全車、大型車）、旅行速度、混雑度</p>	